

いきいき大河

～社協だより～

発行
大河地区社会福祉協議会
会長 神出 恭子
編集 広報部会
責任者 中澤 通世

高齢者を対象とした「サンサン大河ヒュッケ」と、乳幼児と保護者を対象にした「子育て広場ぴよぴよ」が揃って20周年を迎えました。

20周年おめでとう

サンサン大河ヒュッケ

- ・ 6月26日(水) 大河公民館
- ・ 参加者 45名
- ・ 内容 第1部 お楽しみDVD上映
皆さん大爆笑で楽しみました。
第2部 お茶べり会
20年を振り返り、皆が一言。
「毎月1回来るのが楽しみ」
「皆と会えるのが楽しみ」
「毎回最後の手遊びが楽しみ」など
最後に翠町地域包括支援センター理学療法士
橋本将和さんのリードで手遊びをし、楽しい時
間を過ごしました。



子育て広場 ぴよぴよ

- ・ 7月18日(木) 大河公民館
- ・ 参加者 保護者26名、幼児27名
- ・ 内容 第1部 studioスイナ代表城戸美和さんの指導によるリトミック
親子のふれあい遊びで体を動かしました。
第2部 音楽家 藤江潤土さんのファミリーコンサート
自身が手がけた「TSSはじめてばこ」テーマソング『家族の約束』などを歌っていただきました。
第3部 20年振り返りスライドショー
懐かしいスライドを見て、これまでの活動を振り返りました。
親も子どもも楽しく過ごし、20周年記念品をもらいました。



あっという間の20年です。あの時1歳だった乳児が今は20歳を超えていると思うと時の流れを感じ、感無量です。「ヒュッケ」も「ぴよぴよ」もスタッフに恵まれ、当時のメンバーがあまり変わらずボランティアを続けてくれています。本当に感謝しかありません。これからも地域の高齢者や子育てのお役に立てれば幸いです。皆さん、気軽に参加ください。

大河地区社会福祉協議会会長 神出 恭子



ピーススクール

～ハワイのスイーツ作りとフラダンス～



- ・7月20日(土) 午前10時～12時 大河公民館
- ・参加者 小学生18名
- ・内容 ハワイのお菓子 ハウピア(ココナッツミルクプリン)と
パイナップルカップケーキ作り
ウクレレの生演奏でフラダンス体験
- ・主催 大河公民館
- ・共催 大河地区青少年健全育成連絡協議会
- ・講師 公民館グループ メレティアレ 沖野真弓さん
- ・協力 公民館グループ ウクレレ「アロハ」 浜本邦治さん



ハワイのお菓子をみんなで協力しながら作り、食べました。食べた後は、沖野さんの指導のもとフラダンスを習い、浜本さんのウクレレ演奏と歌に合わせて『パイナップルプリンセス』を踊りました。

子どもたちの感想

- 「お菓子作りもフラダンスも楽しかった」
- 「みんなと協力してお菓子を作ったので美味しくできた」
- 「手伝うことがいっぱいあったので忙しかった」



第3回 キッズカフェおおこう



(絆)メンバーとスタッフ

- ・8月1日(木) 午前11時～午後1時 大河公民館
- ・参加者 小学生58名
- ・内容 ゲーム、映画、キッズランチ、ミニプレゼント
- ・主催 大河地区社会福祉協議会
- ・協力 翠町中学校絆実行委員会 生徒15名

絆実行委員会のメンバーが、福笑い・ポッチャ・ヨーヨー釣りなどのゲームの進行を手伝いました。その中には、昨年小学生としてキッズカフェに参加していた生徒も数名含まれており、成長を感じました。

子どもたちの感想

- 「今回はコーンスープ、コロッケ、からあげで、メニューが変わって嬉しかった」
- 「前回のカレーがよかった」
- 次回は12月開催予定です。お楽しみに!!



第1回
大河

わいわい祭り

今回、第1回大河わいわい祭りを、
色々な方々のご協力を得て実施することが
できました。

自分自身、大河小学校を卒業してこの地域で育ち、子どもの頃にアイビータウン祭りという楽しい経験をしました。「大河を盛り上げたい」、「今の子どもたちに思い出を」、「子どもから大人までが集まり大河地区の活性化を」と考えてお祭りを企画しました。来年も多世代が触れ合うお祭りができればと思っています。

大河わいわい祭り実行委員会委員長 大森 烈

9月22日(日)

大河小学校グラウンド

主催：大河地区社会福祉協議会

主管：大河わいわい祭り実行委員会



ワークショップ



イカ焼き



肉巻き焼きそば



ゲームコーナー



実行委員会メンバー

広島市の地域コミュニティ活性化補助金で実施した第1回大河わいわい祭りは、延べ人数1400人の来場者をカウントしました。若い世代の人から「子どもたちに思い出作りを」、「地域のふれあいを」との提案で実行委員会を立ち上げて実現しました。皆様のご協力に感謝です。

大河地区社会福祉協議会会長 神出 恭子

防災セミナー

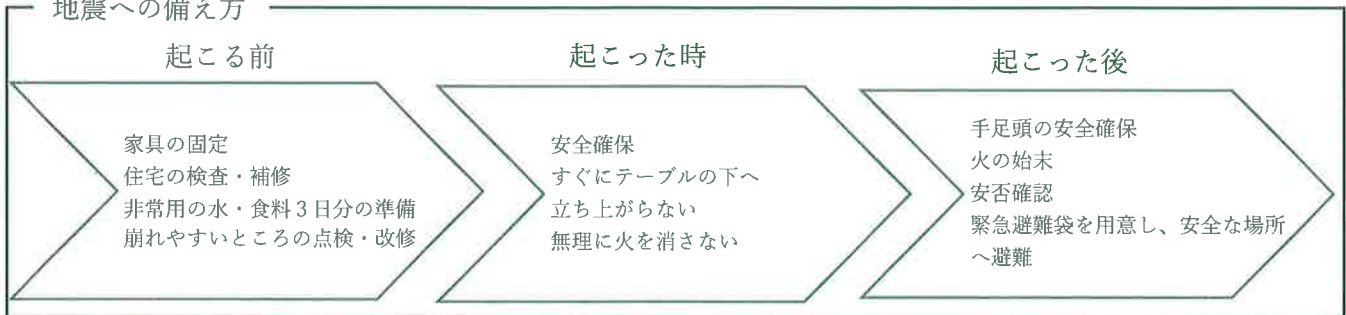
7月26日(金)大河公民館にて、大河地区自主防災会連合会・大河公民館主催による防災セミナーが開催され、23名が参加しました。

1 『能登半島地震に見る広島の課題』 講師 広島県自主防災アドバイザー 越智秀二さん

今年1月1日に起きた能登半島地震。6月26日現地へ赴いたが、復旧作業は進んでいない。

広島県には、災害が来ないと思っている人が多いが、過去には23.5メートルの津波も来ている。県内いたるところに活断層があるのでいつ地震が起きてもおかしくない。過去の急激な都市化で住宅不適切地の宅地が急増しており、広島市内低地部では地盤の液状化や津波被害、周辺の高麗の造成地では盛土地盤の崩壊が起きやすくなっている。

地震への備え方



2 『災害から命を守るために広島県からのお願い』 広島県消防保安課 主任 内海幹康さん

① 平成30年7月豪雨のように、近年大雨が増えているので備えてほしい。

- ・ハザードマップで地域の災害リスクを確認する
- ・避難先を確認する
- ・家族との連絡方法を確認する
- ・どう行動するか家族と共有する



② 大河地区では、大雨が降った場合に土石流・がけ崩れが発生する危険箇所が多いので、近所で声を掛け合って早めに避難しよう。

③ 防災グッズをチェックし、日頃から備えよう。

VR(バーチャルリアリティ)ゴーグルで、がけ崩れの3D映像を体験し、怖さを実感しました。



広島平和記念式典で献花しました

出汐町 城戸 美和



広島に生まれ育って44年。小さい頃から平和学習を受け、大学時代は被爆者の証言を集め、大人になってからも中学校の社会科の教員であったことから、歴代の平和宣言を生徒たちと読んできました。そして、毎年必ずテレビで慰霊式をみて、8時15分に黙祷をささげて参りました。そんな平和学習への関心の高い私ですので、このような機会をいただけたことは大変光栄でした。

実際に式典をこの肌で感じ、79年前の同じ時刻から続く被爆者とそのご家族・関係者の方々の苦しみを強く感じ、黙祷の際は自然と涙が溢れました。

まだまだ世界で起こる悲惨な戦争や争い。ある方に言われたことがあります。「戦争を知らずに死ぬ世代はいないよ」

平和な社会はどうやってつくっていけばよいのでしょうか？これは、私たち現代を生きる広島市民にとって、大切な課題だと強く感じる経験となりました。

編集後記

暑い暑い夏でした。わいわい祭りの熱気にも圧倒されました。

井上奈津恵・竹中由紀
土本由美子・中澤通世
浜根千津子・宮尾邦子